



Spring 4-1-2024

主の祈りを身近なものに

Yoshihiko Ariizumi
yoshi.ariizumi@gmail.com

Follow this and additional works at: <https://scholarsarchive.byu.edu/sproficiency>



Part of the [Education Commons](#)

Recommended Citation

Ariizumi, Yoshihiko, "主の祈りを身近なものに" (2024). *Spiritual Proficiency*. 33.
<https://scholarsarchive.byu.edu/sproficiency/33>

This Article is brought to you for free and open access by the ANEL at BYU ScholarsArchive. It has been accepted for inclusion in *Spiritual Proficiency* by an authorized administrator of BYU ScholarsArchive. For more information, please contact ellen_amatangelo@byu.edu.

主の祈りを身近なものに

有泉芳彦

2024年3月31日

「主の祈り」にメロディーをつけるというとてもない企画が生まれ、何とか曲が生まれました。そのいきさつについて少しまとめてみます。

今は、2024年ですが、2月の初めころ、教会の出版物を読んでいた時、「あらゆる思いの中で、わたしを仰ぎ見なさい」（教義と聖約6：36）を実行に移すには、「強い精神力」が必要だというというメッセージを読みながら、それはそうだとも思いつつ、それだけではうまくいかないような気がしました。そこで、この聖句にあるように、あらゆる思いの中でどのようにしたら救い主に気持ちを向けられるだろうかと考え、これを実行に移すための考察と実践を始めました。やがて、このプロジェクトをD6というコードネームで呼び始め、感じたことや起こったことの記録を付けはじめました。

当初考えていたのは、次のようなステップでした。何回かこのような順序でプロジェクトが成功したものですから、この度もこれを実行しようとしたのです。

- 1) いろいろ関連の資料などを読んだり、また、周りの人たちの30人ぐらいの人たちからインプットをもらう。
- 2) それを参考にして、自分の生活を変えるための企画書を書く。
- 3) その企画書をしばしば読み返しながら、自分の生活を徐々にその中に書かれたアイデアを取り入れることによって変革し、そのプロセスを丁寧に記録する。
- 4) その経験（1か月ぐらいを目途にしていた）を振り返って、一つのレポートにまとめて、それを周りの人たちと分かち合い、フィードバックをもらったり、参考にしてもらう。

それで、充実した結果が3月末ぐらいにはレポートにまとめられるはずでした。しかし、現実はいざ軌道がそれ、ステップ1の丁寧なまとめとなるべき企画書ができないまま、何となく、いろいろなことを始めて、それが不思議な展開をしました。

ステップ1で周りの人たちからのインプットをもらったのが刺激にはなったと思うのですが、その聖句を3つの言語でメロディーをつけて頻繁に口ずさむことが始まり、それと並行して、山上の垂訓の中には、救い主の教えが凝縮しているだろうと考え、新約聖書とモルモン書の第3ニーファイから、何度もその箇所を読むことになりました。山上の垂訓は、この2か月近くで、今日までに100回近く読んだと思います。そんなに何度も読んで意味のある考察ができたのかといぶかる人があるかもしれません。何事もやりすぎるといのも考えものですからね。しかし、けっこう飽きることもなく、様々な気づきがここに少し、あそこに少しと起こり、救い主の教えを自分の生活の中で頻繁に思い起こすことになったのです。

そのように読み続けていく中で、ある時「主の祈り」に意識が向きました。The Lord's Prayerという素晴らしい曲があります。Albert Hay Malotteというフィラデルフィア生まれのアメリカ人の作曲家により、1935年に発表されました。次の2つのビデオではオーケストラを背景

に美しく歌っています。とりわけ、二番目のビデオは10歳そこそこのJackie Evanchoの歌唱力が素晴らしく有名です。わたしの大好きな演奏です。

<https://www.youtube.com/watch?v=azzUV58DWzk>

<https://www.youtube.com/watch?v=Vg2AsS4CErM>

でも、このメロディーはなかなか日本語にはなじまないかもしれないし、日本語で「主の祈り」のオリジナルな曲はないようなので、自分が作曲できたらいいな、ととんでもない夢物語を心に抱いていました。それでも、祈ってみて神様がどう導かれるかを知ろうとひざまずきました。するとどうでしょう。作ってみなさいと後押しされる気持ちを感じたのです。そこで、作曲など、音楽の専門の教育を受けたこともないわたしですが、チャレンジすることになり、1か月がたちました。何とか形になったので、公表します。楽譜もできていないし、また、伴奏も何もありません。歌唱力が不十分なところも何か所もあります。しかし、1つのことだけは確かなのは、これを歌うことで、この救い主が教示された模範的な祈りが、今までの何倍もの力で、自分の心に迫ってきて、内容に馴染むことができ、毎日何度も口ずさむことによって、この祈りのスピリットが感じられることは素晴らしい祝福だということです。聞いてみてください。

<https://scholarsarchive.byu.edu/sproficiency/32/>

上に書きましたが、今回4つのステップに完全に従うことはできませんでしたが、経験から学んだことは、福音の原則のあるポイントに特に注意が向けられた時、このステップを踏むことにより、それが実行に移される確率は著しく高まることを証できます。総大会も迫っていますので、靈感されてあることが気になったら、それを実践するために、これをやってみてくださいね。